

金沢大学法学類
2012年度「法理学」小テスト
11月30日1限実施/ 出題: 足立英彦
解答・解説

1. 次の語句をそれぞれ1~3行で説明せよ。(各3点)

(a) 命題

解答 命題とは、真偽が定まっているもののことである。

(b) 規範

解答 規範とは、義務様相を含む命題のことである。

解説 義務様相に言及していれば1点。

(c) 自由権

解答 自由権とは、作為と不作為が許されており、かつ、作為及び不作為を妨害しないよう求める権利もある地位のことである。

解説 自由の説明(作為・不作為の許可)があれば2点。

(d) 整合的

解答 整合的とは、ある命題集合について、そのすべての要素が真になる場合があるということである。

2. 次の推論は論理的に正しいか。真理表を用いつつ説明せよ。(各2点)

(a) $A \vee \neg A \models A$

解答

A	$\neg A$	$A \vee \neg A$	A
1	0	1	1
0	1	1	0

問の推論は、前提($A \vee \neg A$)が真で結論(A)が偽の場合(反例)が2行目にあるので、論理的に正しい推論ではない。

解説 真理表が正しく書けていれば1点。説明が正しければ1点。ただし、どの行が反例であるのかを指摘していることが必要。

(b) $A \rightarrow B, \neg B \models \neg A$

解答

A	B	$A \rightarrow B$	$\neg B$	$\neg A$
1	1	1	0	0
1	0	0	1	0
0	1	1	0	1
0	0	1	1	1

問の論証は、前提がすべて真である場合が4行目だけであり、その場合に結論も真なの

で、論理的に正しい推論である。

解説 論理的に正しい推論とは、前提がすべて真であるようなあらゆる場合に、結論も真になるような推論のことである。そのため、「前提がすべて真で、結論も真の場合があるので、問の推論は論理的に正しい」といった説明は間違い。このような書き方をすれば、前提がすべて真である場合（行）が他にないことも指摘する必要がある。

3. 「a は b に対して G を行うことを許されている」という命題が真である場合、以下のそれぞれの命題の真理値を述べよ。(各 1 点)

- (a) 「a は b に対して G を行うことを禁止されている。」

解答 偽

解説 この命題 ($Oab \neg G$) は「a は b に対して G を行うことを許されている」という命題 ($PabG \equiv \neg Oab \neg G$) と矛盾の関係にある。したがって後者 ($PabG$) が真であれば、前者 ($Oab \neg G$) は偽である。

- (b) 「a は b に対して G を行うことを命じられていない。」

解答 真または偽

解説 この命題 ($\neg OabG \equiv Pab \neg G$) は「a は b に対して G を行うことを許されている」($PabG$) という命題と小反対の関係にある。したがって、後者が真であれば、前者は真または偽である。

- (c) 「b は a に対して G を行うことを求める権利を有している。」

解答 真または偽

解説 この命題 ($RbaG$) は $OabG$ と論理的に同値であり、また、 $OabG$ は「a は b に対して G を行うことを許されている」という命題 ($PabG$) と含意の関係にある（前者は後者を含意する）。後者 ($PabG$) の命題が真であれば、前者 ($OabG$) は真または偽であり、したがって $RbaG$ も真または偽である。

4. 次の文を論理式に書き換えよ。ただし、次の解釈を用いること。(各 1 点)

Fx 「x は布団である」 Tx 「x はふっ飛ばす」

- (a) 布団はふっ飛ばす。

解答 $\forall x(Fx \rightarrow Tx)$

- (b) 布団はふっ飛ばさない。

解答 $\forall x(Fx \rightarrow \neg Tx)$

解説 $\neg \exists (Fx \wedge Tx)$ (ふっ飛ばす布団はない。) も正解。

- (c) ふっ飛ばす布団がある。

解答 $\exists x(Fx \wedge Tx)$

解説 $\neg \forall x(Fx \rightarrow \neg Tx)$ 等も正解。

- (d) ふっ飛ばさない布団がある。

解答 $\exists x(Fx \wedge \neg Tx)$

解説 $\neg \forall x(Fx \rightarrow Tx)$ 等も正解。

(e) 布団だけがふっ飛ばす。

解答 $\forall x(Tx \rightarrow Fx)$

解説 $\forall x(\neg Fx \rightarrow \neg Tx), \neg\exists x(Tx \wedge \neg Fx)$ 等も正解。

(f) 布団だけがふっ飛ばさない。

解答 $\forall x(\neg Tx \rightarrow Fx)$

解説 $\forall x(\neg Fx \rightarrow Tx), \neg\exists x(\neg Tx \wedge \neg Fx)$ 等も正解。

5. 一般的法規範と個別的法規範の違いについて、それぞれの法規範の例も挙げつつ説明せよ。

(5点)

解答 一般的法規範とは、具体的に名指しされない不特定の人すべてを名宛人（義務を課される人）とする法規範であり、個別的法規範とは、具体的に名指しする特定の人を名宛人とする法規範である。前者の例としては、国民に納税の義務を課す憲法 30 条や、人を殺した者に懲役刑または死刑を課す刑法 199 条などの法律や、住民に義務を課す条例を上げることができる。後者の例としては、刑事被告人に下される判決や、行政行為による命令、私人間の契約を上げることができる。

解説 具体例として権利や自由権を挙げている者が散見されたが、一般的法規範と個別的法規範の区別は、義務を課される人の範囲の違いによる区別であって、義務に対応する権利を持つ人の範囲の違いによる区別ではないため、間違いである。違いの説明に 3 点、具体例に 2 点を配点した。

参考情報 (12 月 3 日現在)

履修登録数	受験者数	平均点
147	135	19.9

* 30 点 (満点) 3 名、29 点 3 名。

以上